

## 環境心理生理運営委員会 議事録 2011年度 第5回

文責 辻村

- A. 【日 時】 2012年2月22日 水曜日(11:00~13:00)
- B. 【場 所】 建築会館 会議室
- C. 【出席者】 松原斎樹(主査)、榎究(幹事)、辻村壮平(幹事)、  
大石洋之、西名大作、宗方淳  
順不同・敬称略
- D. 【配布資料】 2011年度 第4回環境心理生理運営委員会議事録(案)  
2011年度 第4回環境工学本委員会メモ  
2012年度 各小委員会活動成果報告  
2012年度 環境工学委員会 各委員会設置期間・予算配分

### E. 【報告事項】

#### 1. 第4回環境心理生理運営委員会議事録(案)の確認

前回議事録(案)の確認を行った。記載内容について、前回開催日及び次回開催予定日が誤っているという指摘があり、これらを修正したものを正式な議事録とすることで承認された。

#### 2. 第4回環境工学本委員会の報告

第4回環境工学本委員会には松原主査の代理で榎幹事に出席して頂いた。本委員会の内容に関して、特に環境心理運営委員会に関連の深い事項について榎幹事から報告があった。

##### ■ 2012年度調査研究委員会予算配分案について

環境工学分野全体では 12444,000 円 (前年-3.76%) となっており、本運営委員会は 384,000 円 (前年+8000 円) である。2月28日までに事務局に小委員会の予算配分案を提出しなければならない。

##### ■ 小委員会活動成果報告について

2011年度の各小委員会の活動成果報告を各小委員会主査が報告した。

##### ○ 環境心理小委員会

環境心理小委員会の主査である宗方委員が本年度の活動成果を報告した。2011年8月に第11回環境心理生理チュートリアルを開催した(参加者は48名)。また、分野横断的な展開のための研究交流活動としてミニ研究会(長澤先生に研究紹介をしてもらう)を実施している。

##### ○ 感覚・知覚心理小委員会

感覚・知覚心理小委員会の主査である西名委員が本年度の活動成を報告した。2011年11月に第10回感覚・知覚心理シンポジウム「人間行動と感覚・知覚心理研究—行動データをどのように分析するか—」を開催した(参加者は24名)。

##### ○ ヒューマナイズ小委員会

ヒューマナイズ小委員会の主査である讚井委員からの資料に基づいて、本年度の活動成果を確認した。ヒューマナイズ研究の研究対象及び研究手法の拡張可能性を検討することを目的に、4回の勉強会・意見交換会を実施した。

- プログラム編成会議委員選任依頼について  
旅費経費節減のため、東京近郊の委員を運営委員会で選任する。
- 大会学術講演梗概集の冊子版の廃止について  
2012年度より梗概集の冊子版が廃止となり、DVD版のみとなった。
- 2012年度大会（東海）の研究懇談会について  
研究懇談会テーマは「節電環境から考えるこれからの建築」である。環境心理生理分野から震災に対してコメントを頂ける方として大井先生を選任して欲しいという意見があり、本運営委員会で承認した。
- 論文集・技術報告集の委員について  
論文集委員は秋田先生、技術報告集委員は丸山氏が継続となる。
- AIJ-ES（旧アカデミックスタンダード）の環境基準総則の改定について  
責任の所在を明確にするため、運営委員会査読とし、運営委員会の関与を強化する。シンポジウムの実施についても運営委員会判断とする。講習会をシンポジウムに代えたいという意向がある。
- 環境工学者名簿について  
2012年度早々に出版される（異動情報を収集）。
- 2012年度 環境工学本委員会開催予定日時  
2012/5/23（水） 14時～  
9/20（木） 14時～  
11/6（火） 14時～  
2013/2/19（火） 14時～

## F. 【審議事項】

### 1. 次年度の予算配分

2012年度の本運営委員会及び各小委員会への予算配分について議論を行った。他の運営委員会が予算削減傾向にある中、本運営委員会の2012年度の予算は384,000円で、本年度より8000円増えている。本運営委員会及び各小委員会への予算配分については、基本的には本年度の予算配分に基づくことで決定した。

○ 環境心理生理運営委員会	130,000円
○ ヒューマナイジング小委員会	53,000円
○ 感覚・知覚小委員会	143,000円
○ 環境心理小委員会	58,000円

### 2. 2012年度建築学会大会 OS について

2012年度建築学会大会 OS について活発な議論を行った。

- ・テーマは「知的生産性研究の方法論と課題」である。
- ・OSの研究発表はどのくらい集まりそうか？ OSへの投稿数が少ないと成立しないのでひとまず関係者でどのくらい集まるかを把握しておく方がよいのでは。 松原主査  
⇒ IBECの知的生産性グループから1編は投稿がある。 宗方委員
- ・本数が集まらなければOSをなくしても良いのでは？ 宗方委員  
⇒ OSは開催した方がよい。 松原主査

- ・松原主査から田辺先生に OS への投稿をお願いしてもらえると良い。 宗方委員  
⇒ 田辺先生に OS への投稿を伺ってみる。 松原先生
- ・既往研究を押さえ、これまでの研究の流れを把握した上で、方法論や課題を概括したような内容のものを OS の 1 報目にもってこれると良い。 榎委員  
⇒ 本運営委員会の委員が連名で 1 編投稿する必要があるかもしれない。 松原主査
- ・OS 開催に向けて、引き続き様々な分野の関係者に個別に声を掛けていく。 松原主査

### 3. プログラム編成会議への出席者

次年度建築学会大会のプログラム編成会議が 2012 年 4 月 25 日（水）に開催される。本運営委員会から秋田委員、小島委員、榎幹事、宗方委員、辻村と、昨年度出席して頂いた環境心理小委員会委員の佐野さんに出席を依頼する。

### 4. 次年度の環境心理生理運営委員会の開催日程

次年度も環境工学本委員会の開催日に合わせて運営委員会を開催する予定である。

### **G. 【次回の開催日程】**

2012 年 5 月 23 日(水) 17:30～19:30 予定